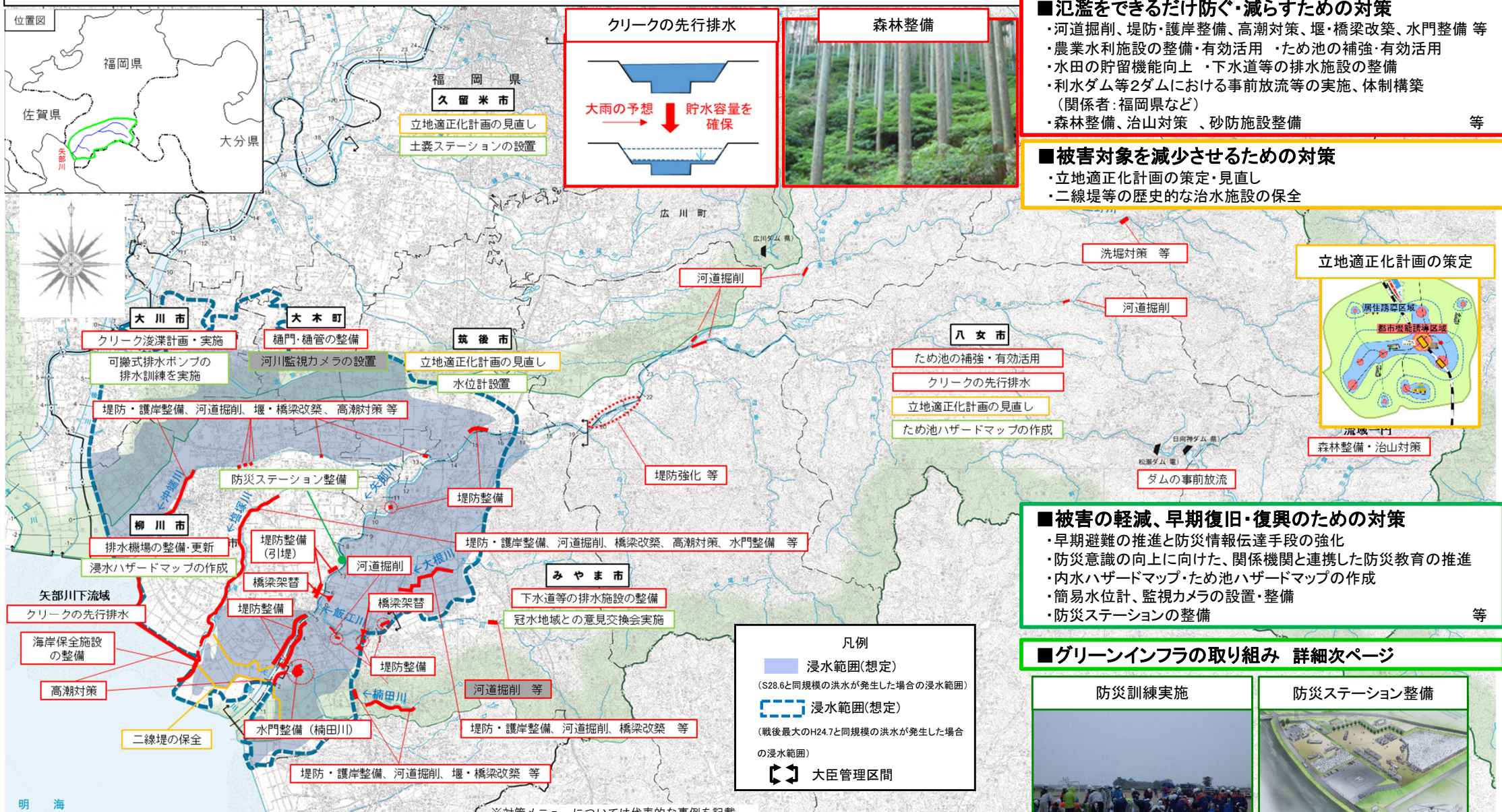


矢部川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、矢部川水系においても事前防災対策を進める。干満差が日本一大きい有明海に注ぎ、下流部では低平地が広がり水害の被害に遭いやすいという流域の特性を踏まえて、河道整備などを進めることで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水に対して本川の堤防からの越水を回避するなど、あらゆる関係者が協働して流域治水の取組を推進していき流域における浸水被害の軽減を図る。



※対策メニューについては代表的な事例を記載

※今後、「河川整備計画」などが策定された場合は、本プロジェクトの記載内容の見直しを適宜行う。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

矢部川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

○矢部川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】治水上安全度の低い箇所の整備を優先的に実施。国直轄区間では本川下流より整備を実施。大雨が予想される場合に、クリーク等の先行排水を行うことで流出抑制に取り組む。利水ダム等による事前放流体制の構築や防災ステーションの整備を完了させる。

【中長期】堤防・護岸整備、河道掘削、堰・橋梁の改築等を進めていき、流域全体の安全度向上を図る。

国直轄区間では支川の整備を進めていく。

防災教育等の実施や自主防災組織の活動支援を継続的に行っていき、流域における、防災・減災対策を推進する。

■河川対策（約373億円）
■下水道対策（約11億円）
■海岸対策（約25億円）

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	筑後川河川事務所 福岡県 等	本川下流より整備を実施	支川の整備
	内水対策	柳川市・大川市・みやま市・大木町 等	支川・派川の整備	
	高潮・津波対策	筑後川河川事務所 福岡県	水路等の浚渫?整備	
	砂防対策	福岡県	高潮堤・水門の整備	
	下水道対策	みやま市	砂防関係施設の整備	
	海岸高潮対策	福岡県	下水道等排水施設の整備	
	森林整備、治山対策	福岡森林管理署・福岡県・ 森林整備センター九州整備局	高潮堤の整備	
	流水の貯留機能の拡大	筑後川河川事務所 福岡県・福岡県企業局 等	治山事業の実施・森林整備事業の実施・水源林造成事業の実施	
被害対象を減少させるための対策	流域の雨水貯留機能の拡大	福岡県・久留米市・柳川市・八女市・筑後市・大川市・みやま市・大木町	利水ダム等による事前放流体制構築	
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	久留米市・八女市・筑後市・(福岡県)	農業水利施設の整備・有効活用、ため池の補強・有効活用、水田の貯留機能向上	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	筑後川河川事務所・久留米市	クリークの先行排水 (久留米市・柳川市・筑後市・大川市・みやま市・大木町・八女市)	立地適正化計画の策定・見直し等
	土地の水災害リスク情報の充実	筑後川河川事務所 福岡県・各市町	二線堤の保全、止水板の設置助成	
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の充実	筑後川河川事務所 福岡県・各市町	水位計・河川監視カメラ等の設置・浸水ハザードマップの作成・更新	
	避難体制等の強化	筑後川河川事務所 福岡県・各市町	ため池ハザードマップの作成	防災教育・出前講座の実施等
グリーンインフラの取組	経済被害の軽減	筑後川河川事務所 柳川市	連絡体制の構築 等	自主防災組織の設立・活動支援 等
	船小屋地区かわまちづくり	筑後川河川事務所・福岡県、みやま市、筑後市	防災ステーション整備	防災ステーション完成 (筑後川河川事務所・柳川市)
	多様な機能の活用	筑後川河川事務所、福岡県	船小屋地区かわまちづくり	
	自然環境の保全・再生	筑後川河川事務所、福岡県	多様な機能活用(河川環境学習等)	
	多自然かわづくり推進	筑後川河川事務所、福岡県	自然再生の推進(生息環境、河川の連続性の確保等)	
	多様な生態系の保全(農業関係)	福岡県	多自然川づくりの推進(生物生息環境保全・河川景観創出)	
				多様な生態系保全

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

※対策メニューについては
代表的な事例を記載。

※スケジュールは今後の事業進捗
によって変更となる場合がある。

●グリーンインフラの取り組み『矢部川の豊かな自然環境、地域・観光資源を活かした水辺の賑わい創出』

- 矢部川は福岡・大分・熊本の3県にまたがり、矢部川流域は豊かな自然環境に恵まれ、流域内の広い範囲が「矢部川県立自然公園」「筑後川県立自然公園」に属しています。中流部には国指定天然記念物の「船小屋ゲンジボタル発生地」や「新舟小屋のクスノキ林」があり、豊かな景観・自然環境が形成されています。
- 温泉街、県営筑後広域公園などの観光資源も豊富な矢部川中流域で整備を進める「船小屋地区かわまちづくり」において、今後概ね10年間で賑わいのある水辺空間を創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組みを推進します。

【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえ、地域・自治体等と連携・協働しながら河川空間を活用した地域の賑わいを創出
- ・天然記念物等の美しい河川景観、自然豊かな水辺に親しめるネットワークの形成

●治水対策における多自然川づくり

- ・整備における生物の多様な生育環境、河川景観の保全
- ・湿地等の保全、レキ河原、瀬・淵・ワンドの保全
- ・河川の縦断・横断方向の連続性の確保

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

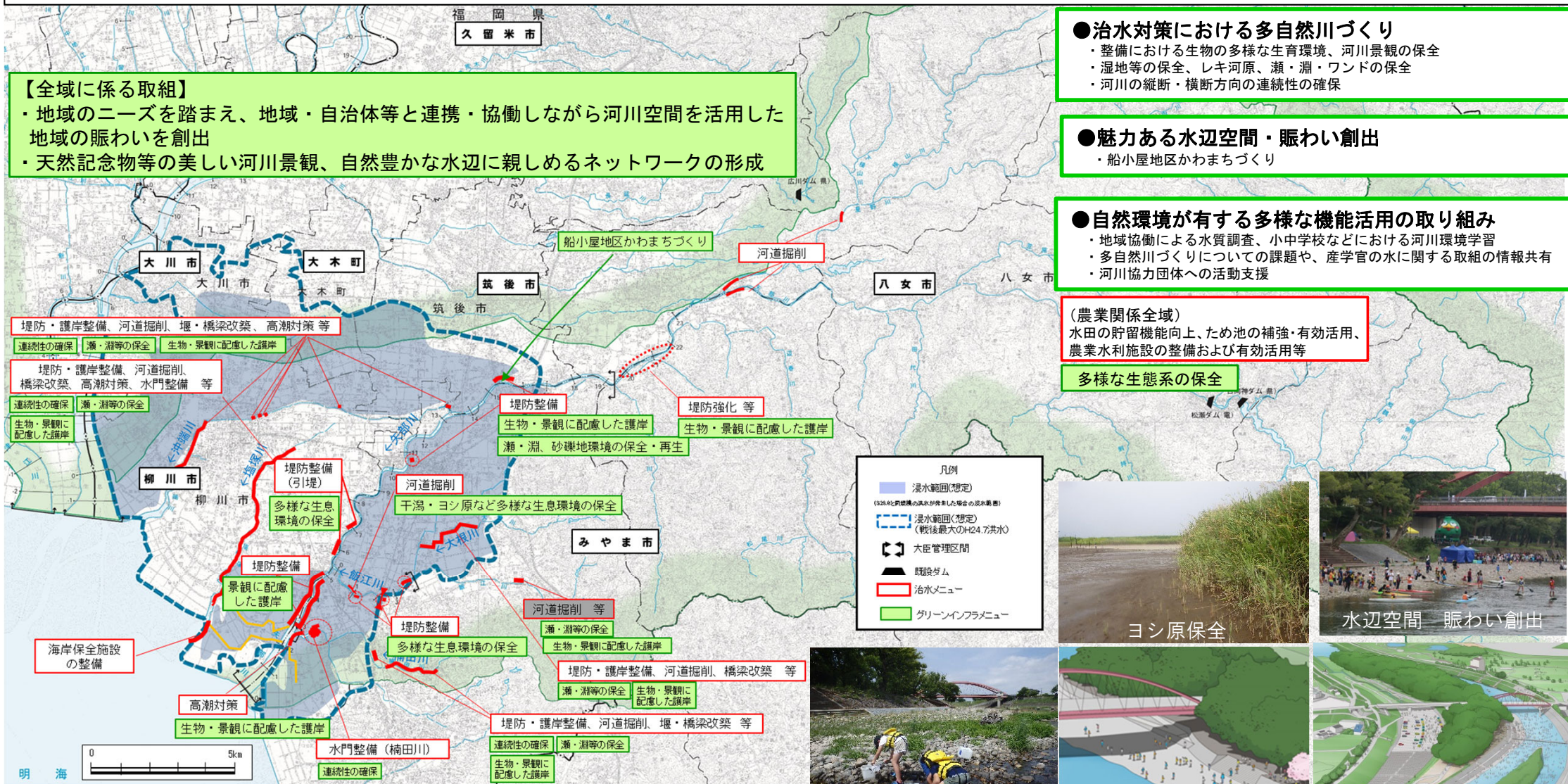
- ・船小屋地区かわまちづくり

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み

- ・地域協働による水質調査、小中学校などにおける河川環境学習
- ・多自然川づくりについての課題や、産学官の水に関する取組の情報共有
- ・河川協力団体への活動支援

(農業関係全域)
水田の貯留機能向上、ため池の補強・有効活用、
農業水利施設の整備および有効活用等

多様な生態系の保全



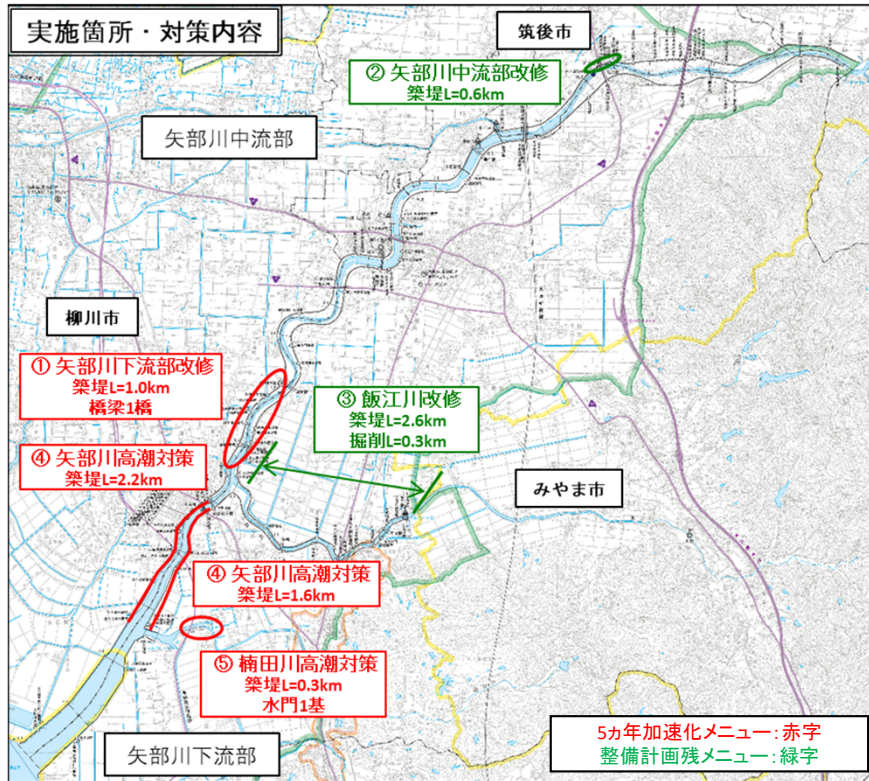
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

矢部川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

○中島地区の高潮堤防整備において、一連の高さ整備が完了することで、当該地区では昭和60年台風規模における災害を防ぐことが可能。

短期整備（5ヵ年加速化対策効果）：河川整備率 約94%→約95%

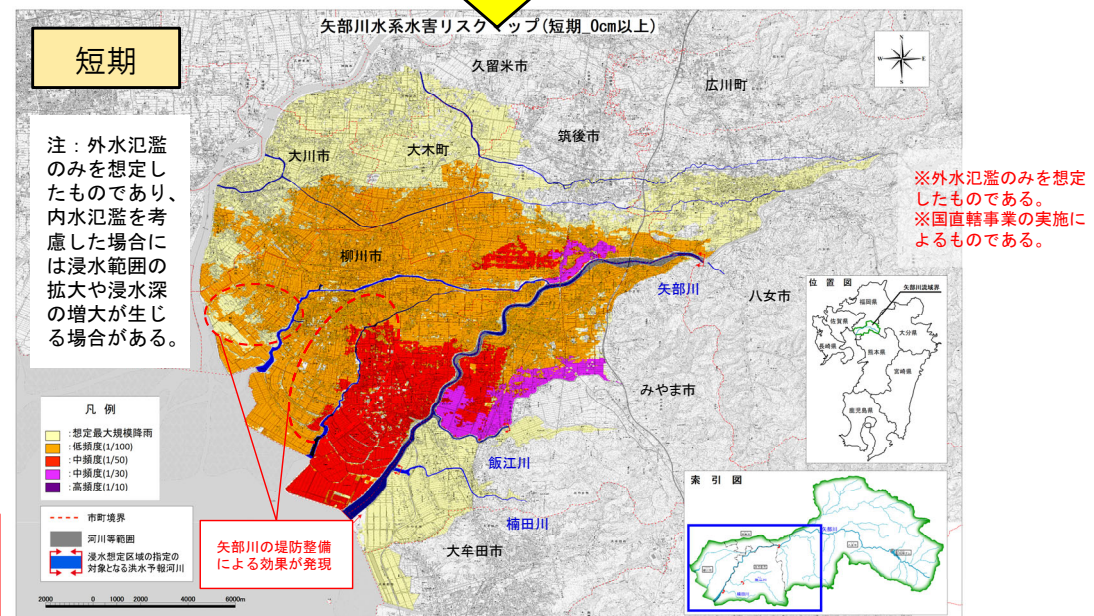
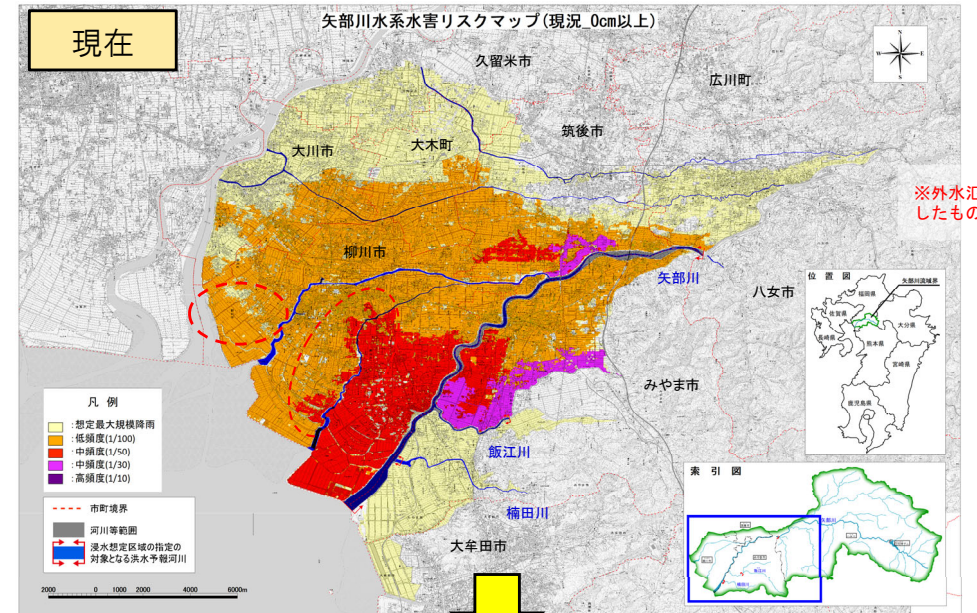


区分	対策内容	区間	現況 安全度	R4 工程	
				短期（R3～R7年度）	中長期（R8～R18年度）
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	① 矢部川下流部改修	鷹ノ尾地区（引堤） 六合地区（引堤）	本川 1/30	50%	100%
	② 矢部川中流部改修	船小屋地区（堤防整備）			100%
	③ 飯江川改修	飯江川（堤防整備、河道掘削）	飯江川 1/5		100%
	④ 矢部川高潮対策	中島地区（築堤） 徳永地区（築堤）	—	70%	100%
	⑤ 楠田川高潮対策	楠田川（築堤、水門）	—	40%	100%

※スケジュールは今後の事業進捗
によって変更となる場合がある。

【短期整備完了時点の進捗】

① 矢部川下流部引堤事業 0%→50%
④ 矢部川高潮対策事業 0%→70%
⑤ 楠田川高潮対策事業 0%→40%



矢部川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：95%
（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



6市町村
（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設
（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 6箇所
（令和4年度実施分）
砂防関係施設の
整備数 1施設
（令和4年度完成分）
※施工中 8施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



2市町村
（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 16河川
（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定
区域 0団体
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 698施設
計画 土砂 39施設
（令和4年9月末時点）
個別避難計画 7市町村
（令和5年1月1日時点）

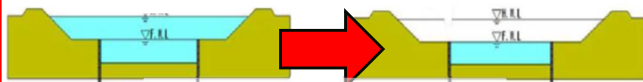
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

クリークの先行排水

矢部川流域では低平地の特性を生かしたクリーク（農業用排水路）が網の目のように発達しており、大雨が予想される場合にはクリークの先行排水を行うことで貯水容量を確保し、流出抑制に取り組んでいる。柳川市では、24時間で80mm程度の降雨予測がなされた場合に実施についての検討を始め、その後は降雨予測を見ながら適宜水位の調整を行っている。令和3年度は、5～9月に計10回先行排水を実施。

（イメージ図）

農業用排水路



（実際の様子）
大雨が予想される場合に
水位を下げる

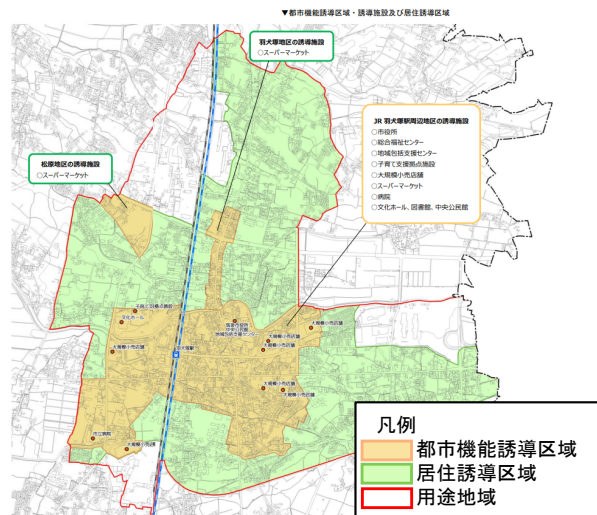


<実施主体> 柳川市

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画の策定・見直し

近年頻発化・激甚化する自然災害に対しては、災害リスクを踏まえた防災まちづくりの目標を設定し、災害に強いまちづくりを進めることが重要である。筑後市では、立地適正化計画で定めた誘導区域について地域毎の災害リスクのきめ細かな分析を行い、防災に関するより具体的な取組及び目標の検討を行う。



<実施主体> 筑後市

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災ステーションの整備

矢部川水系の防災活動拠点となる河川防災ステーションを整備。当該箇所は、平成24年水害時の堤防決壊箇所の背後地に位置しており、備蓄資材は当時使用された実績数量を配置する。令和3年度、柳川市が水防倉庫を敷地内に設置。



水防倉庫
（令和4年1月18日時点）

<実施主体> 筑後川河川事務所・柳川市

矢部川水系流域治水プロジェクト【詳細位置図】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

(八女市)

- ・防災調整池の整備
- ・ため池の補強・有効活用
- ・クリークの先行排水

(八女市)

- ・立地適正化計画の見直し

(八女市)

- ・内水ハザードマップの作成
- ・ため池ハザードマップの作成
- ・ホットラインの構築
- ・防災に関する地区の取組支援
- ・浸水ハザードマップの作成

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策(国土交通省)

- ・早期避難の推進と防災情報伝達手段の強化
- ・防災意識の向上に向けた、関係機関と連携した防災教育の推進
- ・水位計および河川カメラの設置
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(森林整備・治山対策)

- ・治山事業の実施(福岡森林管理署、福岡県)
- ・森林整備事業の実施(福岡森林管理署、福岡県)
- ・水源林造成事業の実施(森林整備センター九州整備局)

矢部川上流部域

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(福岡県)

- ・農業水利施設の整備・有効活用
- ・ため池の補強・有効活用
- ・水田の貯留機能向上
- ・砂防堰堤工の実施
- ・斜面对策工の実施

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(福岡県)

- ・ダム の事前放流

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策(福岡県)

- ・水位計及び河川監視カメラの設置
- ・土地のリスク情報の充実

洗堀対策 等

河道掘削

河道掘削

堤防強化 等

流域一円

森林整備・治山対策

※対策メニューについては代表的な事例を記載。

※今後、「河川整備計画」などが策定された場合は、本プロジェクトの記載内容の見直しを適宜行う。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

矢部川水系流域治水プロジェクト【詳細ロードマップ】

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	矢部川本川・支川洪水氾濫対策(国)	筑後川河川事務所	本川下流より整備を実施	
		矢部川本川・支川洪水氾濫対策(県)	福岡県	支川の整備	
		市営河川の改修	筑後市・みやま市		
		フラップゲート等の設置	筑後市・大木町		
	内水氾濫対策	農業水利施設の整備・有効活用(水路の浚渫・整備 等)	久留米市・柳川市・大川市・みやま市・大木町		
		排水機場の整備・更新	柳川市・みやま市		
	高潮・津波対策	高潮堤・水門の整備	筑後川河川事務所 福岡県		
	砂防対策	砂防関係施設の整備	福岡県		
	下水道対策	下水道等の排水施設の整備	みやま市		
	海岸高潮対策	高潮堤の整備	福岡県		
	森林整備、治山対策	治山事業の実施・森林整備事業の実施 水源林造成事業の実施	福岡森林管理署・福岡県・森林整備センター九州整備局		
	流水の貯留機能の拡大	利水ダム等による事前放流体制構築	筑後川河川事務所 福岡県・福岡県企業局 等		
	流域の雨水貯留機能の拡大	農業水利施設の整備・有効活用(クリークの先行排水 等) ため池の補強・有効活用	福岡県・久留米市・柳川市・筑後市・大川市・みやま市・大木町・八女市		
		水田の貯留機能向上	福岡県、久留米市、筑後市		
		防災調整池等の整備	八女市		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定・見直し	久留米市・八女市・筑後市・(福岡県)		
	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	止水板の設置助成	久留米市		
		二線堤の保全	筑後川河川事務所		

矢部川水系流域治水プロジェクト【詳細ロードマップ】

完了のため見え消し

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	水位計・河川監視カメラ等の設置	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		浸水ハザードマップの作成・更新	筑後川河川事務所 福岡県・久留米市・柳川市・大川市・みやま市・八女市		
		内水ハザードマップの作成・更新	久留米市・八女市・みやま市		
		ため池ハザードマップの作成・更新	久留米市・八女市・筑後市・みやま市		
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の充実	防災教育・出前講座等の実施	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		意識啓発のツール・広報の充実	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
	避難体制等の強化	自主防災組織の設立・活動支援	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		連絡体制の構築	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
		避難基準の見直し	久留米市		
		防災訓練等の実施	筑後川河川事務所 福岡県・各市町		
	経済被害の軽減	土嚢ステーションの設置	久留米市		
		防災ステーション整備	筑後川河川事務所 柳川市		
グリーンインフラの取組	船小屋地区かわまちづくり		筑後川河川事務所、福岡県、みやま市、筑後市	船小屋地区かわまちづくり	
	多様な機能の活用		筑後川河川事務所、福岡県		多様な機能活用(河川環境学習等)
	自然環境の保全・再生		筑後川河川事務所、福岡県		自然再生の推進(生息環境、河川の連続性の確保等)
	多自然かわづくり推進		筑後川河川事務所、福岡県		多自然川づくりの推進(生物生息環境保全・河川景観創出)
	多様な生態系の保全(農業関係)		福岡県		多様な生態系保全

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※対策メニューについては代表的な事例を記載。

矢部川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

矢部川水系流域治水プロジェクト【取組】

完了のため見え消し

～近年出水で大きな被害を受けた矢部川における抜本的な治水対策及び流域が一体となった防災・減災対策～

■砂防関係施設の整備【福岡県の事例】

流域内の溪流における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実行性・安全性を高めるために避難所・避難路等を保全する急傾斜地の対策や地すべり対策を実施する。

